

野田のばっばか獅子舞

野田のばっばか獅子舞は、
11月に紹介した下根獅子舞
と同じ「二人立三匹獅子舞」
です。

太夫獅子・中獅子・雌獅
子の三匹の他に先達や囃子
方、演目によっては花笠が
伴います。

本来は「子ササラ舞」と
いい、獅子が腹部に装着し
た太鼓を叩く音が「ばっば
か、ばっばか」と聞こえる
ことからばっばか獅子舞と
呼ばれるようになりました。



獅子舞や棒術・居合術を
演じるときに「大杉ばやし」
という曲が演奏されますが、
清水地区の夏の祭礼は阿波

江戸時代に伝わった
獅子舞は、獅子舞・棒
術・居合術をそれぞれ
伝えた家の長男だけが
秘伝を受けて、獅子組・
棒組・居合組の3組が
「志連」という形で伝

大杉神社（茨城県稲敷
市）に祀られるアンバ
様（大杉様）の祭礼です。
昔は、村に悪魔や疫
病が入ってこないよう
に、村境で獅子舞を舞
い、お札を祀っていま

した。

現地には元禄6（169
3）年7月、下間久里村（現
在の越谷市下間久里）の荒
井平兵衛から出された「口
伝並びに切紙」が大切に保
存されています。

見てはいけないと伝わる
その古文書には、清水村の
渡辺惣内たちが平兵衛の弟
子となり、獅子舞を伝授さ
れたことが書かれてい
ます。



獅子舞のほか棒術や居合術も

承してきたものですが、昭
和46年、バツパカ獅子舞保
存会ができ、3組の枠にと
られず後進を指導するほ
か、地元の小学校で30年以
上も後継者育成活動を行っ
ています。

また、同保存会は近年海
外での公演活動を積極的に
行っており、台湾や韓国、
アメリカ・ウイスコンシン
州で野田の民俗芸能を披露
しています。

清水台小郷土芸能部も出
演する野田のばっばか獅子
舞は、毎年7月24日の19時か
ら清水八幡神社境内の特設
舞台で行われます。

【参考文献】佐藤真『野田
郷土史』1980

7月の休日当番医

休日当番医での診療時間
外科・産婦人科 = 9時～22時（ただし16時～19時は除く）
内科 = 9時～16時（19時～22時は急病センターで行います）

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
1日(日)	キッコーマン総合病院(☎7123-5911)	関宿中央医院(☎7198-5108)	アイレディースクリニック(☎7137-7661)
8日(日)	梅郷整形外科クリニック(☎7125-2011)	青木クリニック(☎7198-7864)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
15日(日)	門倉医院(☎7124-5311)	大槻医院(☎7127-3424)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
16日(月)	山崎外科内科(☎7122-2359)	はたのこどもクリニック(☎7123-7121)	川間太田産婦人科医院(☎7127-1135)
22日(日)	西村クリニック(☎7123-0050)	石井医院(☎7122-2434)	小張総合病院(☎7124-6666)
29日(日)	しばやま整形外科(☎7120-5355)	奥野循環器科クリニック(☎7123-7711)	アイレディースクリニック(☎7137-7661)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272：コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認してください。

急病センター ☎7125-1188 ▼内科・小児科 = 19時～22時(毎日) ▼歯科診療 = 9時～12時(休日)

▼私事になりますが、4
月の人事異動で5年ぶり
に市報編集に復帰しまし
た。忙しい毎日ですが、
取材先で出会う市民の皆
さんの笑顔に励まされて
います▼6月1日に開所
したシルバーサロン「は
つらつ・ゆうみい」では、
毎日10人ほどの利用があ
るそうで、楽しそうに歓
談する姿を見かけます▼
サロンでは、習字サーク
ルの活動が始まり、近々、
野田市独自の「えだまめ
体操」の活動も始まるそ
うです▼私もサロンの皆
さんから元気をもらって、
精力的に取材をこなして
いこうと思います。(あ)

編集後記
市の木 けやき
市の花 つつじ
市の鳥 ひばり